

2018・10・27「杉並区の施設再編整備計画の学習会」(2)

★ ☆ “富田たく(共産党・杉並区議) のお話し ” (続2) ★ ☆

2014年3月に決定された「杉並区の施設再編整備計画について

1) 田中良区長の言い分は

「今後の30年間で、施設の改修・改築時期に、今のままだ2800億円必要となる。

そのために再編(スリム化)が必要!」と。

⇒党区議団は

「30年間で2800億円というけれど、平均すると年約90億円です。

毎年の改修・改築費は約50億円だから、余分に40億円必要なだけです。

一般会計予算は1800億円を考えれば、施設の大幅削減は必要ない!」と指摘。

2) すると田中区長は

「それでも、今後30年で杉並区の少子高齢化と人口減少で、区税収入が激減するので、

やっぱり再編(スリム化)が必要!」と。

⇒党区議団は

「少子化、人口減少というけれど、区の示す人口推計は杉並の実態と全然違っている!

施設削減のときは激しく高齢化するグラフを使い、施設を削減しないときはほとんど高齢化

しないグラフを利用していることは大問題だ!」と指摘。

2種類のグラフ

①施設削減の根拠として区が利用した「国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」のグラフによれば

30年後には激しく高齢化するグラフとなっている。ただし、このグラフは全国推計であり、

特定地区(例えば杉並区)を表しているわけではない。

②施設削減しない時に区が利用するグラフは、ほとんど高齢化しないグラフを利用している。

このグラフは杉並独自の人口推計にもとづくもので、杉並区行政経営懇談会(H24年6月)の資料から区議団が再作成したものである。

◆このように私たちは問題を指摘し、様々な反対運動を取り組んできたが、オール与党化してしまった区議会の特異な現状では残念ながら区の方針は決定される。

第一次実施プランの5年間で廃止された施設を列挙すると

- 1、科学館
- 2、あんさんぶる荻窪
- 3、41館の児童館のうち3館(和泉、成田西、荻窪北)
- 4、和田掘会館
- 5、区立プール(2カ所)
- 6、公園・児童遊園2園(縮小2園)
- 7、区立保育園5園(廃止後に民営化)
- 8、学校統廃合2地域
- 9、南伊豆健康学園など

◆それでは、今回の「再編整備計画・2次実施プラン(H31.H.32、H33の3年間)」の中身について問題となる個所をあげてみます。

ア、41館の児童館 → 今後の3年間で9館が廃止される。

さらに2館が廃止を明記された。

→今後は全廃となる(14館は「子ども子育てプラザ」(乳幼児が対象)へ)。

イ、ゆうゆう館 → 3年間で3館廃止される。

→今後は、区民集会所、区民会館と統廃合して「地域コミュニティー」施設へ。

ウ、区立認可保育園 → 2019年~2024年の6年間で8園が民営化される

etc

文責 ノビス